

学習の具体的なイメージを持つてもらったために2年生で行った「馬」の学習事例を紹介します。

【学習事例 2年「馬」】

①この漢字は何だ？

(電子黒板に提示)



Tこれ、今みんなが使っている漢字の一番最初の形。二年生で習う漢字です。さて、何という漢字でしょう？

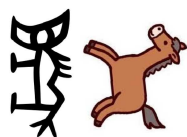
C馬？ C鳥？ C帰る？

T3つ出たね。どれに賛成？

C馬！

T超ヒント出すよ。

C馬や！



Tそう、馬が横向いている形。それが今の「馬」という漢字になったんです。

②音読み・訓読み

T「馬」。何て読む？

Cうま！

Tもう一つ読み方あるんだけど

C馬車のバ！

C競馬のバ！

Tどうして二つの読み方があるの？「うま」だけでいいじゃない？

C「うましゃ」って変だから

C「バ」は外国の読み方

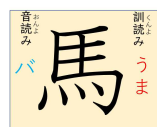
Tへえ、すごいこと知ってるね。(ここで漢字の起源について説明しているが省略)

③この漢字を使った文を考えよう

T今度は、「馬」という漢字を使った文や言葉を考えてみましょう。

どんなのが考えられる？

例えば、「馬に乗る」とか「馬車で荷物を運ぶ」というように



馬に乗る

馬車で荷物を運ぶ



C競馬場

C夢で馬に乗って出かける

C馬小屋

C馬が走っていく

C馬は草を食べる

C馬を操る 等々

T(子どもたちが発表する文を未習漢字も全部ルビ付き漢字で書いていく。)

Tこれ、全部読める？

C(みんなで読む)、

Tふりがな消しても読める？

C(「操る」まで含めて全部読める)

④筆順を覚えよう

(筆順動画を見せると、子どもたちは指を動かして空書きを始める)

Tじゃ、全員立って。「一、二……」



C (一緒に手を動かす)、
 T目をつぶっても書けるようになったら座ってもいいよ
 C (あつというまにみんな座ってしまう)
 Tほんとに書ける？先生の方を向いてやってごらん。
 はい、一、二……ああ、3人間違ってた。もう一度。
 一、二……。OK

⑤「馬」の漢字音読名人を読む

Tでは漢字音読名人の「馬」のところをみんなで
 読もう

C (斉読)

なら

- ・馬二頭 並んで馬車を引いている
- ・馬が走のつていく。
- ・竹馬に乗る。
- ・馬車で荷物を運ぶ。

T意味のわからない言葉、あった？

C 「馬車」って何？

T馬が引く車だから、馬車。昔、トラックなん
 や 荷物を積んだ車を馬
 に引かせて運んでいたんだよ。OK？
 じゃ、おうちで音読練習してね。



「漢字音読名人」より

この子どもたちが考えた文は小黒板に書いて
 一日中見えるようにしておき、帰りの会の時に
 「今日の漢字もう読めるね。筆順もOK？」
 とさっとおさらいすれば記憶が更に強化されま
 す。

馬	うま
馬に乗って出かける	馬は草を食べる
競馬場	馬車を引く

☆「一日一漢字」はパワーポイントのバージョンの違い等で正しく表示されないケースもあるようです。その場合は、動画データを使ってください。